



# 佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート

2023年 第5号(9月)

## 探究実習スタート！

日中はまだ強い日差しを受けますが、朝夕は涼しい風が吹き、少しずつ秋の訪れを感じます。

8月から始まった探究実習。協力校や関係機関との連携・協働のもと、授業や実務に関する実習を行っています。個人の研究テーマに沿って、授業や児童生徒支援の在り方、異校種や関係機関との連携について、実習を通して考察し、今後の研究に生かします。理論と実践を往還しながら、貴重な実習の機会を大きな学びへとつなげたいと思います。

各コースから一人ずつ実習の様子を紹介します。

### 【授業実践探究コース】

ストレートマスター（以下ストマス）は自身が専門とする校種で基盤実習を、現職教員等学生（以下現職院生）は自身が所属する学校とは異なる隣接校種で異校種実習を行っています。私は中学校の教員ですが、小学校で実習し、小中の児童生徒の発達やそれに伴った授業や指導の在り方を考察することができました。実習前半の10日間は主に授業参観をし、10月からは週1日の頻度で実際に授業をします。算数のよさを感じられる授業とはどのようなものか探究を続けます。（現職院生）

### 【子ども支援探究コース】

ストマスは自身が専門とする校種の学校にて、現職院生は特別支援学校や関係機関にてそれぞれ20日間の実習を行っています。学部生のときの教育実習と異なるのは、研究テーマに沿った実習だということです。授業参観をしたり学校行事に参加したりしながら、子どもたちの実態調査や授業実習を行います。子どもたちへの声掛けや指導の仕方など、先生方が日々工夫されている姿はとても勉強になります。これから研究を進めながら、実践的な指導力も身に付けていきたいです。（ストマス）

### 【教育経営探究コース】

現職院生のみの本コースでは、学校以外の関係機関2ヶ所で10日間ずつ実習を行いました。例えば、佐賀県教育委員会の各課や市町の教育委員会、教育センターなどです。私は、県教育委員会の学校教育課と教育事務所で実習を行いました。どちらも、学校現場において教育活動が充実するよう、学校を支える役割を担われていることが分かりました。関係各所との連携の在り方を含め、実習で学んだことを今後の教育や研究に活かしていきたいと思います。（現職院生）

## 前期おつかれ大掃除！



前期最終日には、大掃除を行いました。発表に向けた打ち合わせをしたり、たわいのない話をしたりして過ごした院生共同研究室や授業で使っている教室を掃除しました。役割分担をして、普段は掃除できていない隅々まで綺麗にすることで、清々しい気持ちで前期を終えることができました！後期もこの素晴らしい環境で学べることに感謝して、実りある大学院生活を過ごしていきます。



編集：N&U